

エンドウ4品種、青森6片ニンニク、南部小麦を播種し、順調に生育しています。本年は、本当にたくさんの方々にお世話になりました。意外なところにも、ご愛読くださる方があり、うれしかったです。ありがとうございます。皆様も、良いお正月をお過ごしください。新年もよろしくお祈りします。春までに、植物と人々の博物館の再興に努めます。

会員および配信を希望される方に「植物と人々の博物館」の公開活動ニュースなどをお送りしています。なお、自然文化誌研究会の全体の活動は「ナマステ」でお知らせしています。地方創生と大騒ぎしていても、「辺境」の地道な市民活動にはほとんど関心がもたれませんので、顔見知り信頼のクチコミで友人・知人に転送伝達していただけると嬉しいです。

○報告

1. FAO 世界農業遺産の関連情報をお伝えするウェブページ『**雑穀街道**』では、**雑穀街道普及会**の賛同者を募っています。毎日新聞神奈川版に掲載していただきました。インターネットでも情報が流され、いくらかの反響はあるようです。

賛同が広がるようにどうぞご援助くださいますようお願いいたします。FAO 世界農業遺産ですから他地域や外国の方々も含めて賛同者を増やすように、一層のご助力をお願いします。下記ホームページに活動の現況や関連資料を順次更新していきます。世界農業遺産などに関する紙ベースの資料・図書は「植物と人々の博物館／森とむらの図書室」で閲覧していただけます。

<http://www.milletimplic.net/milletworld/millstr.html>

2. 植物と人々の博物館の復興、

12月2日(土)に、自然文化誌研究会理事・運営員の皆さんで、展示台などの配置作業をしました。書籍を書架に並べています。また、来年にむけて、展示「多様な生業」を企画していますので、民具整理や展示準備、データ整理などご協力ください。狩猟・漁撈は黒澤ら担当、採集・農耕は木俣が担当しますが、また、自然文化誌研究会らしさを出したいので、冒険探検関係の資料・用具などがありましたら、展示にお貸しください。

インターネットを検索していたら、当博物館の所在、開館日などが不明で、実在するのかなどと書き込まれていました。案内に工夫があるようです。

3. ミレット**藤野ワークショップ**は11月19日(日)に上野原市西原で水車搗精、12月3日(日)に雑穀料理教室を行いました。来年度の企画について宮本さんと末村さんと話し合うそうです。12月19日(火)に、藤野倶楽部をお訪ねし、今後の企画の話し合いと藤野分室の図書整理を行いました。丁度、ピオ市が開催され、にぎわっていました。相模湖のチームゴエモンの醤油搾りも実演されていました。

4. **椎葉焼畑研究会**で、12月15日(金)に雑穀について講義しました。昨年に続き、さとゆめの嶋田さんの依頼です。椎葉村総務課長初め、地域おこし協力隊の方ほか、30人ほどの村民の方々が熱心に聴講してくださいました。FAO 世界農業遺産の旗が村役場などにありました。今年、日本からは新たに1件(宮城県)が認定されたそうです。

5. **森とむらの図書室**に、湯川洋司先生(民俗学)のご子息湯川洋史氏から、先生のご著書を寄贈いただきました。

○予定

1. **作業予定日**：12月9日(土)、22日(金)、2018年1月12日(金)の予定です。

植物と人々の博物館では、順次、図書・資料や民具の展示を再開しています。作業にご協力いただきたく、よろしくお願いいたします。ご協力いただける方は黒澤または木俣にメールしてください。ご都合に合わせて、日程調整します。

kibi20kijin@yahoo.co.jp

2. 「**憲法に環境原則を追加する提案**」についての研究会を認定NPO法人環境文明21(憲法部会)で行っています。次回は2018年1月末を予定しています。ご興味があれば詳細をお知らせします。現在の提案書(憲法前文と第三章環境を加筆)は次のホームページで読めます。 <http://www.kanbun.org/2017/170824teigen/170824teigen.html>

3. 提案

1) 第40回環境学習セミナー(案)

話題：雑穀街道における家族農業、自給農耕、ファーマーズマーケットの楽しみと食料安全保障について、予算が得られれば、2・3人の講師をお願いして話し合いたいと考えます。日時：未定。場所：上野原市。

2) **日本村塾**の自給農耕ゼミ、民族植物学ゼミ、扶桑こくゼミは、希望者があれば読書会開催します。都市農業や家族農業の文献は森とむらの図書室(小菅および藤野分室)で閲覧できます。講演や研究報告はホームページで読めます。

4. **民族植物学第11号**は愛媛の宮本さんに編集をお願いしました。主な内容は、八丈島における「タコウナ」の食習慣、九州・沖縄の雑穀農耕文化複合、書評、安田・環境文明論、憲法に環境原則、環境学習セミナーの報告、などです。

第12号の原稿締め切りは2018年7月とします。関東地方の雑穀栽培など準備しますが、ご寄稿を歓迎します。バックナンバーは第7号～第10号まで少しあり、希望者に差し上げます。第1号から第10号まで、すべての記事はホームページで読めます。

5.『雑穀のインド亜大陸』は民族について学びながら、ネパール・ブータン、パキスタンおよびインド各州について、個人の現地調査の体験をまじえながら、自由に書いています。第2章インド亜大陸の多彩な自然と文化を未定稿として公開しました。順次必要に応じて改訂していきます。同じく、『日本雑穀のむら』は第7章九州・沖縄の雑穀栽培を公開、『環境学習原論』および『第四紀植物』、“Essence of Ethobotany”はまだ目次構成程度ですが、書き始めています。ともに、下記の個人ホームページから引用してくださる場合は、「木俣美樹男（2018 未定稿）」としてくださるようお願いいたします。

自然文化誌研究会（東京都日野市）：代表 中込卓男、副代表 中込貴芳（東京）、小川泰彦（埼玉）
ミューゼス研究会／トランジション小菅（山梨県小菅村）：代表 青柳諭、副代表 亀井雄次
植物と人々の博物館（山梨県小菅村）：館長 木下善晴
日本村塾生・研究員：木俣美樹男（東京）、西村俊（石川）、藤盛礼恵（千葉）ほか
雑穀街道普及会 <http://www.milletimplic.net/milletworld/millstr.html>
事務局長：黒澤彦彦（山梨県小菅村） npo-inch@wine.plala.or.jp
公式HP：自然文化誌研究会 <http://www2.plala.or.jp/npo-inch/>
植物と人々の博物館 <http://www.ppmusee.org/>
メールマガジン発行：木俣美樹男 kibi20kijin@yahoo.co.jp
個人HP：生き物の文明への黙示録 <http://www.milletimplic.net/>

写真



ミレット藤野講座「雑穀料理」



植物と人々の博物館



展示台の設置、森とむらの図書室の整備状況



椎葉村の椎葉焼畑研究会



FAO 世界農業遺産の旗